

第7期 鷹栖町障がい福祉計画 アンケート集計表

■アンケート調査の概要

実施年	発送総数	回答数	回収率
2017年	577	233	40.4%
2020年	553	276	49.9%
2023年	553	205	37.1%

問1 回答者

実施年	本人	家族	施設職員	その他	無回答
2017年	158	54	11	0	10
2020年	170	73	15	1	17
2023年	140	51	6	3	5

問2 年齢

実施年	0-17歳	18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-64歳	65-74歳	75歳以上	無回答
2017年	17	14	13	19	46	45	79	0
2020年	18	20	7	21	51	49	106	4
2023年	17	15	7	17	43	43	62	1

問3 性別

実施年	男性	女性	その他	無回答
2017年	115	117	0	1
2020年	138	133	1	4
2023年	98	107	0	0

問4 世帯構成

実施年	ひとり暮らし		夫婦のみ世帯		その他世帯		無回答	
2017年	22	9.4%	55	23.6%	139	59.7%	16	6.9%
2020年	47	17.0%	85	30.8%	139	50.4%	5	1.8%
2023年	31	15.1%	47	22.9%	125	61.0%	2	1.0%

問5 障害者手帳などの取得状況(複数回答可)

実施年	身体1級	身体2級	身体3級	身体4級	身体5級	身体6級	療育A	療育B	精神1級	精神2級	精神3級	指定難病	小児慢性	不所持	合計
2017年	39	29	21	44	13	11	20	21	0	8	4	3	1	23	237
2020年	42	29	29	51	14	16	23	22	1	11	6	3	1	30	278
2023年	33	12	18	41	11	8	19	19	2	8	7	4	0	26	208

問6 身体障がいの種類(複数回答可)

実施年	視覚	聴覚・平衡機能	音声・言語・そしゃく機能	上肢不自由	下肢不自由	体幹不自由	運動機能障害	内部障害
2017年	8	22	4	36	75	23	0	26
2020年	11	21	4	38	86	11	1	33
2023年	3	12	4	21	57	12	0	26

問7 難病(指定難病)の認定

実施年	受けている		受けていない		無回答	
2020年	28	10.1%	216	78.3%	32	11.6%
2023年	17	8.3%	178	86.8%	10	4.9%

問8 発達障害の診断

実施年	ある		ない		無回答	
2020年	26	9.4%	216	78.3%	34	12.3%
2023年	21	10.2%	171	83.4%	13	6.3%

問9 定期的な病院通院

実施年	通院している		通院していない		無回答	
2017年	207	88.8%	26	11.2%	0	0.0%
2020年	228	82.6%	41	14.9%	7	2.5%
2023年	169	82.4%	33	16.1%	3	1.5%

問10 主な通院先

実施年	旭川市内		鷹栖町内		上川管内		北海道内		北海道外		無回答	
2017年	174	80.9%	30	14.0%	4	1.9%	6	2.8%	0	0.0%	1	0.5%
2020年	185	78.7%	34	14.5%	7	3.0%	4	1.7%	1	0.4%	4	1.7%
2023年	145	84.3%	15	8.7%	4	2.3%	4	2.3%	0	0.0%	4	2.3%

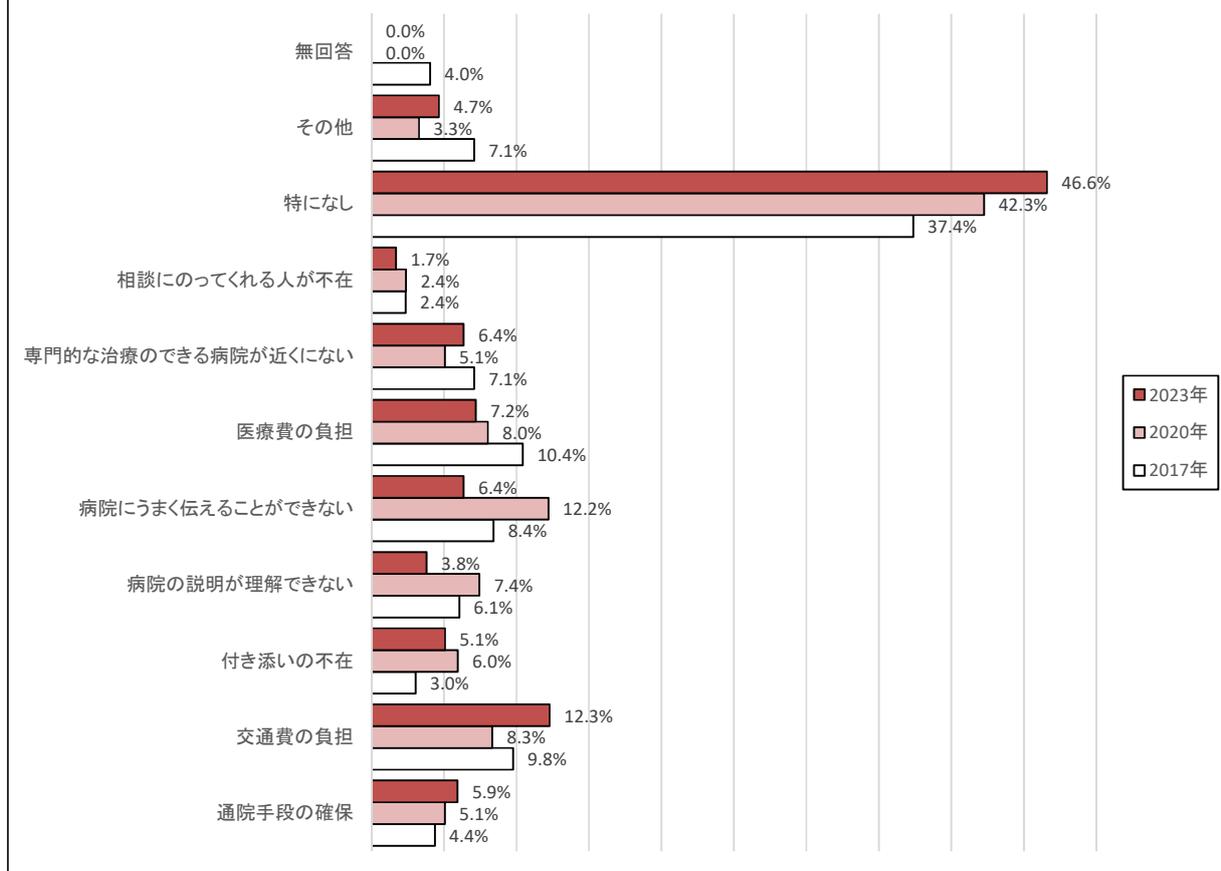
問11 平均通院回数

実施年	週1回以上	1か月に1回以上	2~3か月に1回以上	4か月~半年に1回以上	1年に1回程度	数年に1回程度	その他	無回答
2017年	13 6.0%	95 44.0%	75 34.7%	10 4.6%	14 6.5%	1 0.5%	5 2.3%	3 1.4%
2020年	17 7.2%	102 43.4%	73 31.1%	10 4.3%	20 8.5%	1 0.4%	7 3.0%	5 2.1%
2023年	6 3.5%	77 44.8%	61 35.5%	10 5.8%	10 5.8%	4 2.3%	1 0.6%	3 1.7%

問12 病院受診で困っていること、不安に思っていること(複数回答可)

実施年	通院手段の確保	交通費の負担	付き添いの不在	で病 き院 ない 説明 が理 解	る病 こ院 とに がう でま きく な伝 いえ	医療 費の 負担	なき 専門 病的 院な が治 療く のに で	る相 人が 不在 につ てくれ	特になし	その他	無回答
2017年	13 4.4%	29 9.8%	9 3.0%	18 6.1%	25 8.4%	31 10.4%	21 7.1%	7 2.4%	111 37.4%	21 7.1%	12 4.0%
2020年	17 5.1%	28 8.3%	20 6.0%	25 7.4%	41 12.2%	27 8.0%	17 5.1%	8 2.4%	142 42.3%	11 3.3%	0 0.0%
2023年	14 5.9%	29 12.3%	12 5.1%	9 3.8%	15 6.4%	17 7.2%	15 6.4%	4 1.7%	110 46.6%	11 4.7%	0 0.0%

問12 病院受診で困っていること、不安に思っていること(複数回答可)



問13 現在受けている医療的ケア(複数回答可)

実施年	何も受けていない	導尿	膀胱留置カテーテル	膀胱瘻	胃瘻	腸瘻	経鼻栄養	中心静脈栄養	透析	腹膜透析	ストマ	在宅酸素	痰吸引	気管切開	人工呼吸器	医師伝達装置	その他
2017年	148	7	0	3	2	1	0	1	7	0	4	1	0	2	2	0	21
2020年	185	3	1	1	2	0	0	2	8	1	7	5	0	0	1	0	25
2023年	145	3	0	0	1	0	1	0	6	0	5	3	1	1	1	0	15

問14 現在の住まい

実施年	持ち家	賃貸住宅	グループホーム	施設入所	その他	無回答
2017年	165 70.8%	36 15.5%	9 3.9%	18 7.7%	5 2.1%	2 0.9%
2020年	191 69.2%	35 12.7%	14 5.1%	27 9.8%	5 1.8%	4 1.4%
2023年	144 70.2%	29 14.1%	10 4.9%	15 7.3%	1 0.5%	6 2.9%

問15 将来希望する生活

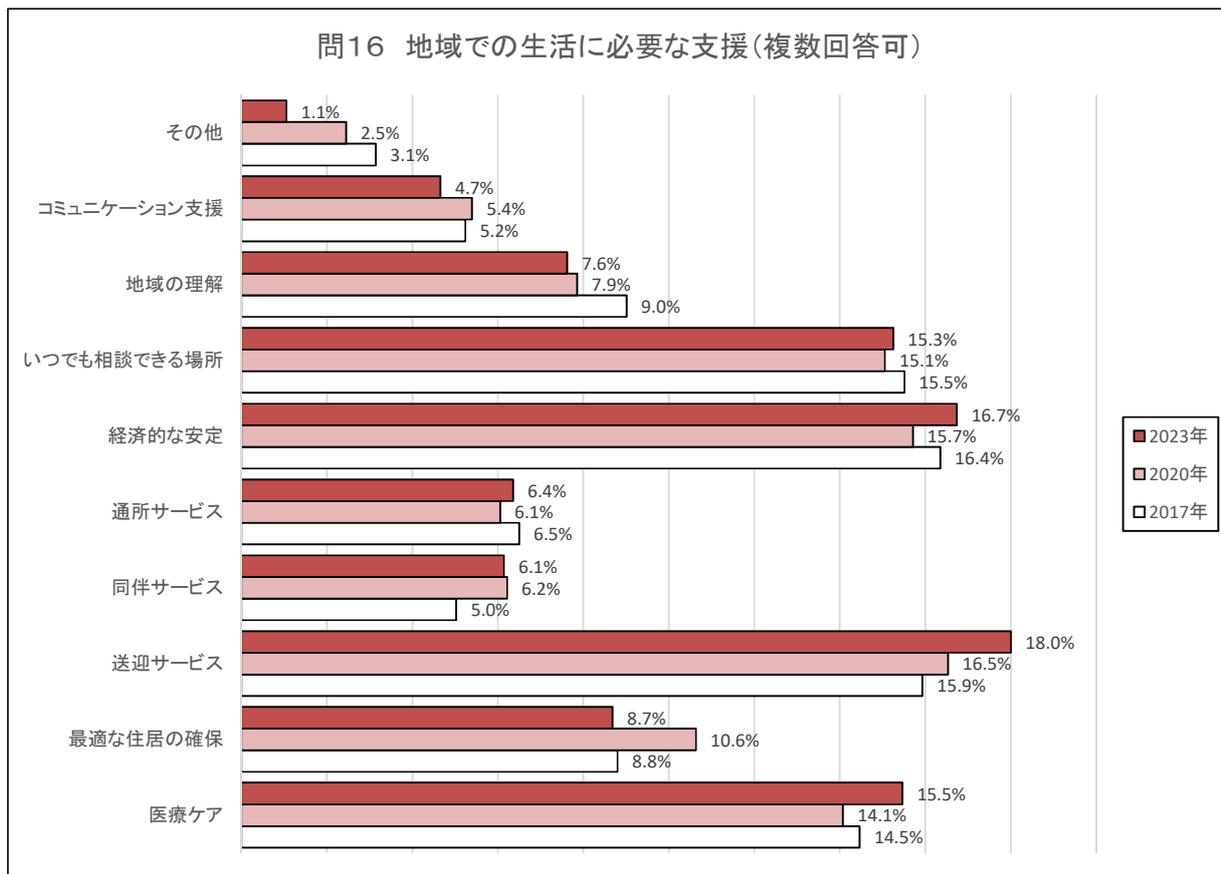
実施年	家族と一緒に自宅で生活		自宅でひとり暮らし		グループホーム		施設入所		その他		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
2017年	142	60.9%	21	9.0%	13	5.6%	20	8.6%	18	7.7%	19	8.2%
2020年	157	56.9%	25	9.1%	24	8.7%	21	7.6%	19	6.9%	30	10.9%
2023年	114	55.6%	31	15.1%	17	8.3%	15	7.3%	12	5.9%	16	7.8%

問15 グループホームや施設入所希望者の希望時期

実施年	すぐに		5年以内		5年以上先	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
2017年	2	8.0%	6	24.0%	17	68.0%
2020年	3	11.1%	5	18.5%	19	70.4%
2023年	1	5.6%	3	16.7%	14	77.8%

問16 地域での生活に必要な支援(複数回答可)

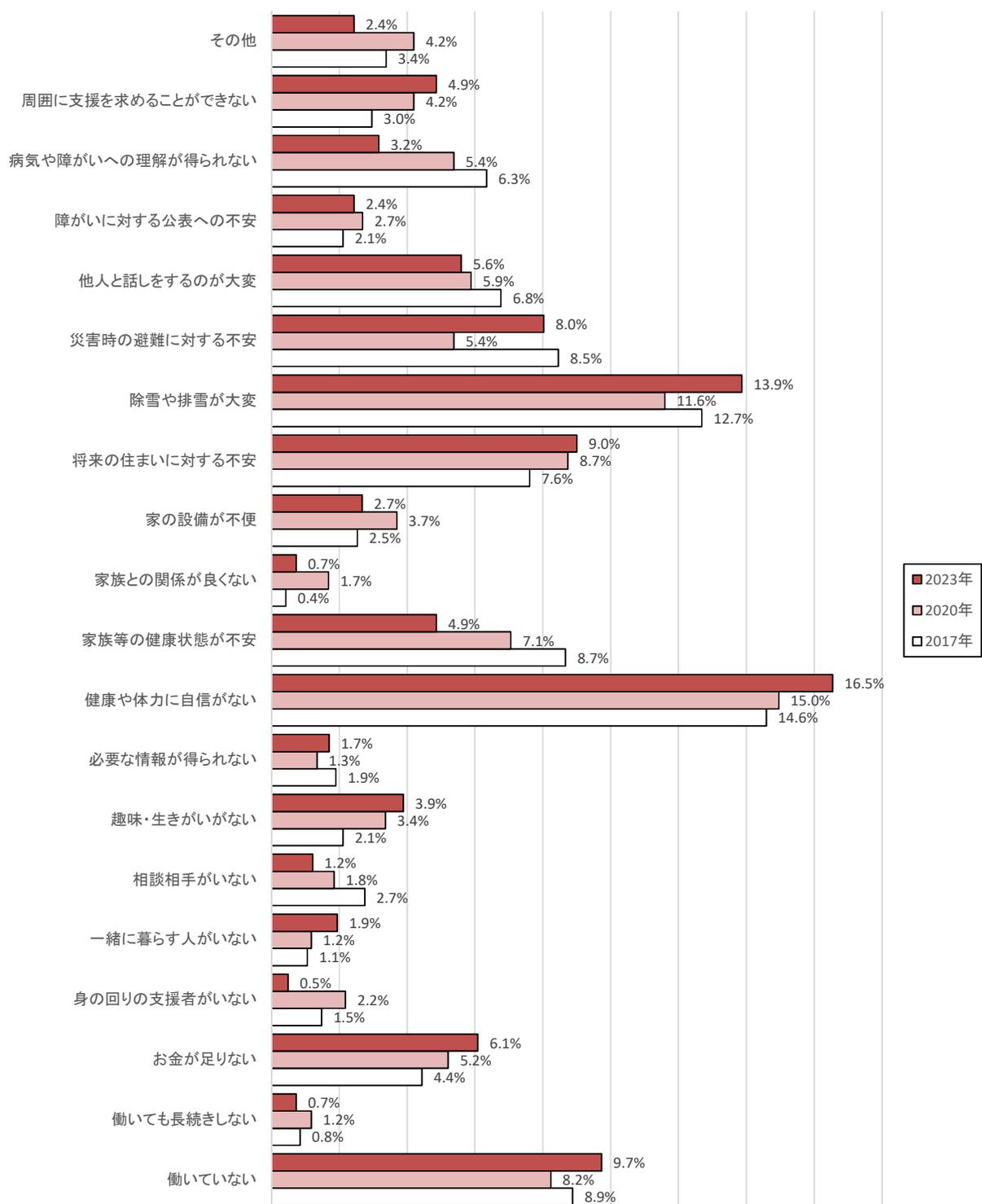
実施年	医療ケア	最適な住居の確保	送迎サービス	同伴サービス	通所サービス	経済的な安定	いつでも相談できる場所	地域の理解	支援コミュニケーション	その他
	2017年	69 14.5%	42 8.8%	76 15.9%	24 5.0%	31 6.5%	78 16.4%	74 15.5%	43 9.0%	25 5.2%
2020年	86 14.1%	65 10.6%	101 16.5%	38 6.2%	37 6.1%	96 15.7%	92 15.1%	48 7.9%	33 5.4%	15 2.5%
2023年	73 15.5%	41 8.7%	85 18.0%	29 6.1%	30 6.4%	79 16.7%	72 15.3%	36 7.6%	22 4.7%	5 1.1%



問17 現在の困っていることや不安(複数回答可)

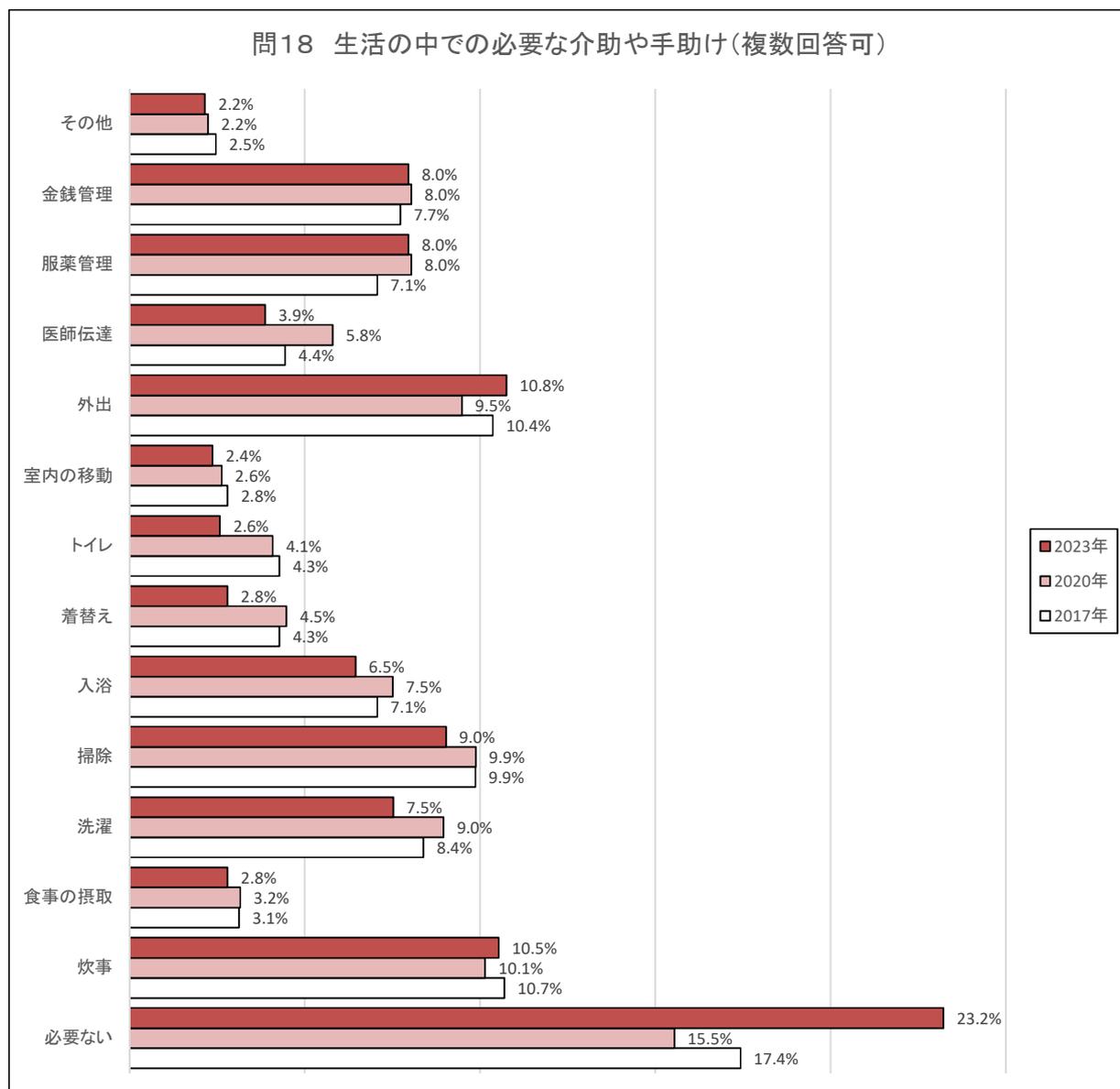
実施年	働いていない	働いても長続きしない	お金が足りない	身の回りの支援者がいない	一緒に暮らす人がいない	相談相手がない	趣味・生きがいがない	必要な情報が得られない	健康や体力に自信がない	家族等の健康状態が不安	家族との関係が良くない	家の設備が不便	将来の住まいに対する不安	除雪や排雪が大変	災害時の避難に対する不安	他人と話しをするのが大変	障がいに対する公表への不安	病気や障がいへの理解が得られない	周囲に支援を求めることができない	その他
2017年	42 8.9%	4 0.8%	21 4.4%	7 1.5%	5 1.1%	13 2.7%	10 2.1%	9 1.9%	69 14.6%	41 8.7%	2 0.4%	12 2.5%	36 7.6%	60 12.7%	40 8.5%	32 6.8%	10 2.1%	30 6.3%	14 3.0%	16 3.4%
2020年	49 8.2%	7 1.2%	31 5.2%	13 2.2%	7 1.2%	11 1.8%	20 3.4%	8 1.3%	89 15.0%	42 7.1%	10 1.7%	22 3.7%	52 8.7%	69 11.6%	32 5.4%	35 5.9%	16 2.7%	32 5.4%	25 4.2%	25 4.2%
2023年	40 9.7%	3 0.7%	25 6.1%	2 0.5%	8 1.9%	5 1.2%	16 3.9%	7 1.7%	68 16.5%	20 4.9%	3 0.7%	11 2.7%	37 9.0%	57 13.9%	33 8.0%	23 5.6%	10 2.4%	13 3.2%	20 4.9%	10 2.4%

問17 現在の困っていることや不安(複数回答可)



問18 生活の中での必要な介助や手助け(複数回答可)

実施年	必要ない	炊事	食事の摂取	洗濯	掃除	入浴	着替え	トイレ	室内の移動	外出	医師伝達	服薬管理	金銭管理	その他
2017年	106 17.4%	65 10.7%	19 3.1%	51 8.4%	60 9.9%	43 7.1%	26 4.3%	26 4.3%	17 2.8%	63 10.4%	27 4.4%	43 7.1%	47 7.7%	15 2.5%
2020年	118 15.5%	77 10.1%	24 3.2%	68 9.0%	75 9.9%	57 7.5%	34 4.5%	31 4.1%	20 2.6%	72 9.5%	44 5.8%	61 8.0%	61 8.0%	17 2.2%
2023年	108 23.2%	49 10.5%	13 2.8%	35 7.5%	42 9.0%	30 6.5%	13 2.8%	12 2.6%	11 2.4%	50 10.8%	18 3.9%	37 8.0%	37 8.0%	10 2.2%



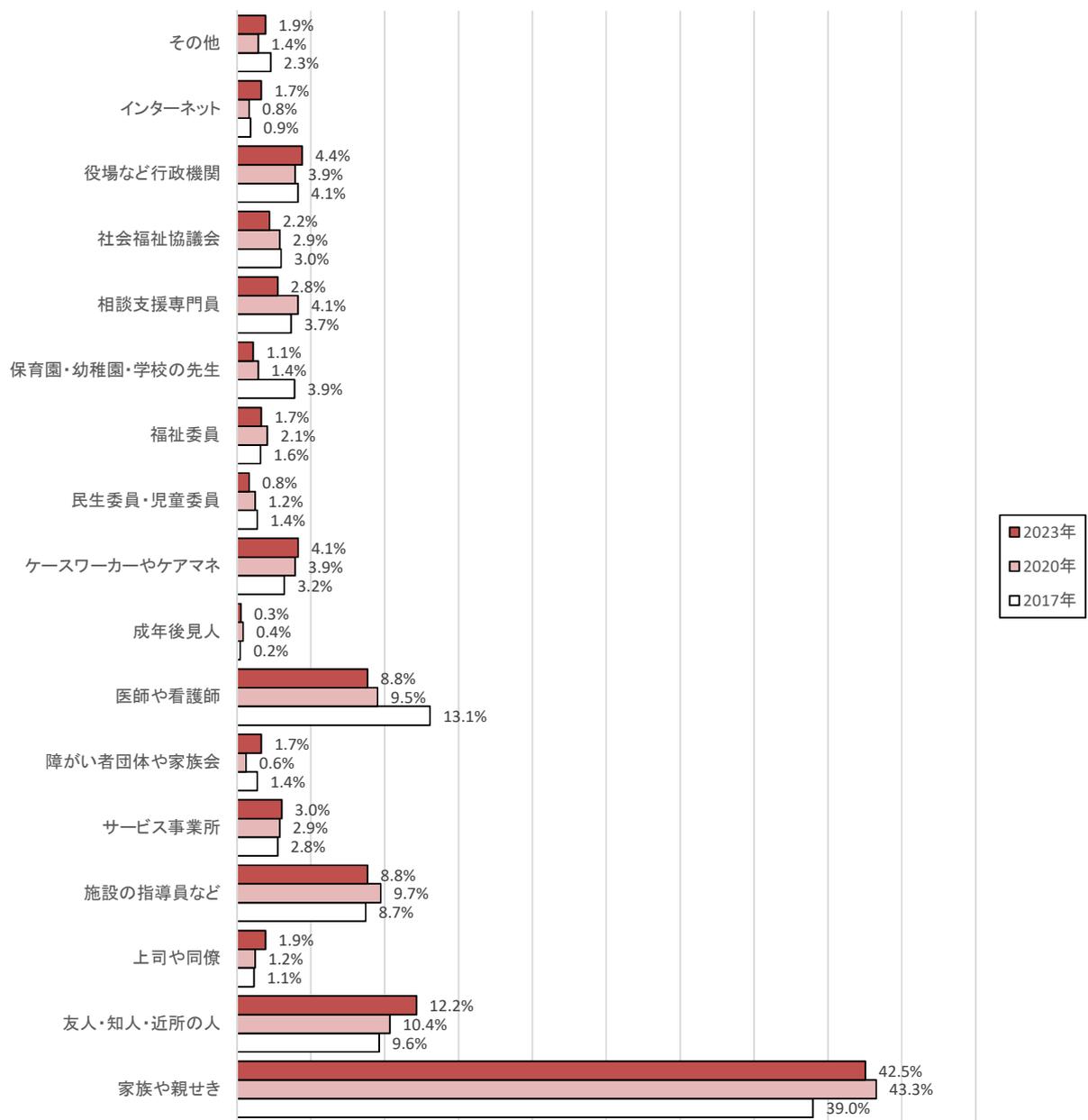
問19 必要なときに介助や手助けをしてくれる人の有無

実施年	いる		いない		必要ない		その他		無回答	
2017年	182	78.1%	14	6.0%	24	10.3%	6	2.6%	8	3.4%
2020年	210	76.1%	21	7.6%	29	10.5%	2	0.7%	14	5.1%
2023年	149	72.7%	18	8.8%	27	13.2%	4	2.0%	7	3.4%

問20 悩みごとや困りごとの相談先(複数回答可)

実施年	家族や親せき	友人・知人・近所の人	上司や同僚	施設の指導員など	サービス事業所	障がい者団体や家族会	医師や看護師	成年後見人	ケースワーカーやケアマネ	民生委員・児童委員	福祉委員	保育園・幼稚園・学校の先生	相談支援専門員	社会福祉協議会	役場など行政機関	インターネット	その他
2017年	170 39.0%	42 9.6%	5 1.1%	38 8.7%	12 2.8%	6 1.4%	57 13.1%	1 0.2%	14 3.2%	6 1.4%	7 1.6%	17 3.9%	16 3.7%	13 3.0%	18 4.1%	4 0.9%	10 2.3%
2020年	209 43.3%	50 10.4%	6 1.2%	47 9.7%	14 2.9%	3 0.6%	46 9.5%	2 0.4%	19 3.9%	6 1.2%	10 2.1%	7 1.4%	20 4.1%	14 2.9%	19 3.9%	4 0.8%	7 1.4%
2023年	154 42.5%	44 12.2%	7 1.9%	32 8.8%	11 3.0%	6 1.7%	32 8.8%	1 0.3%	15 4.1%	3 0.8%	6 1.7%	4 1.1%	10 2.8%	8 2.2%	16 4.4%	6 1.7%	7 1.9%

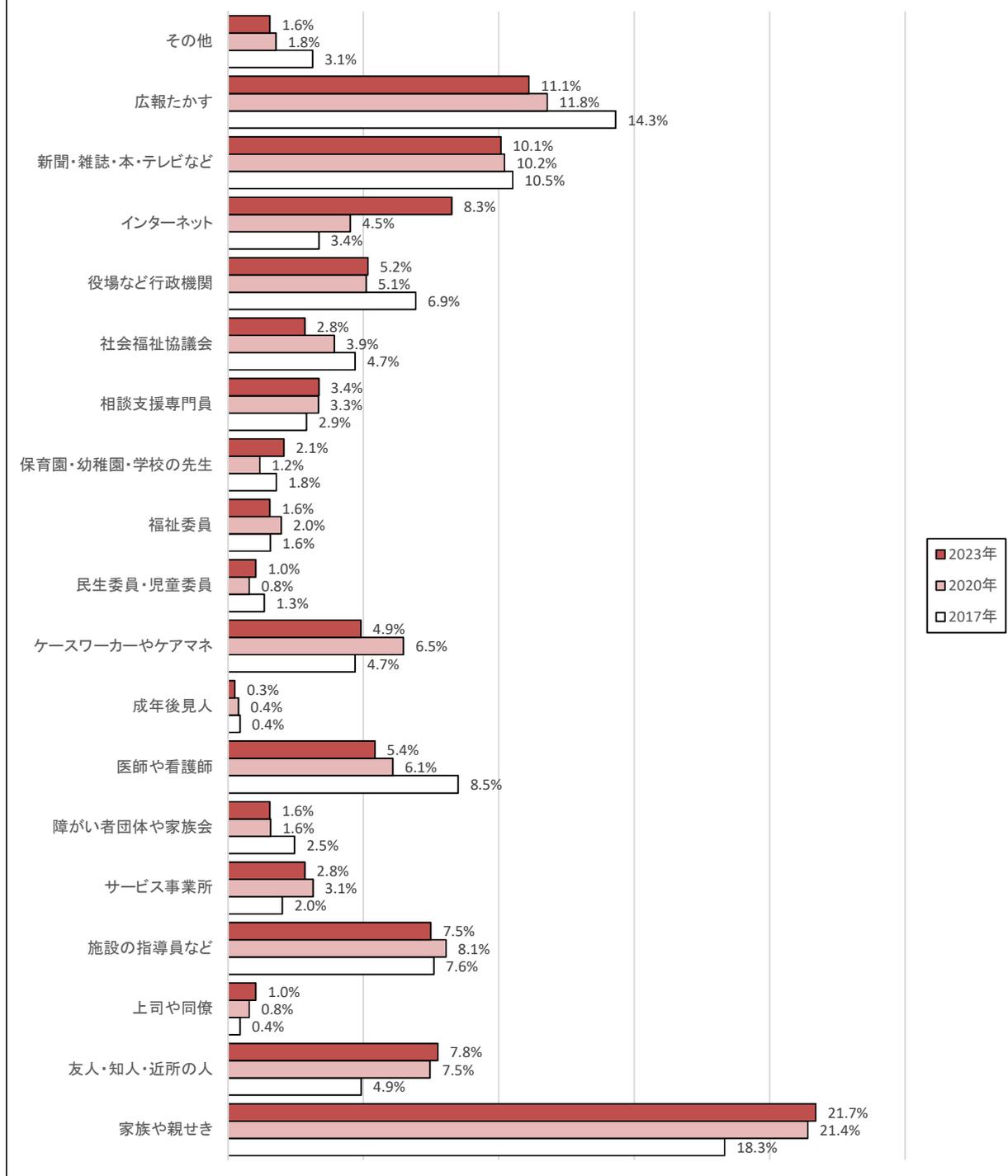
問20 悩みごとや困りごとの相談先(複数回答可)



問21 福祉サービスの情報収集先(複数回答可)

実施年	家族や親せき	友人・知人・近所の人	上司や同僚	施設の指導員など	サービス事業所	障がい者団体や家族会	医師や看護師	成年後見人	ケースワーカーやケアマネ	民生委員・児童委員	福祉委員	保育園・幼稚園・学校の先生	相談支援専門員	社会福祉協議会	役場など行政機関	インターネット	新聞・雑誌・本・テレビなど	広報たかす	その他
2017年	82 18.3%	22 4.9%	2 0.4%	34 7.6%	9 2.0%	11 2.5%	38 8.5%	2 0.4%	21 4.7%	6 1.3%	7 1.6%	8 1.8%	13 2.9%	21 4.7%	31 6.9%	15 3.4%	47 10.5%	64 14.3%	14 3.1%
2020年	109 21.4%	38 7.5%	4 0.8%	41 8.1%	16 3.1%	8 1.6%	31 6.1%	2 0.4%	33 6.5%	4 0.8%	10 2.0%	6 1.2%	17 3.3%	20 3.9%	26 5.1%	23 4.5%	52 10.2%	60 11.8%	9 1.8%
2023年	84 21.7%	30 7.8%	4 1.0%	29 7.5%	11 2.8%	6 1.6%	21 5.4%	1 0.3%	19 4.9%	4 1.0%	6 1.6%	8 2.1%	13 3.4%	11 2.8%	20 5.2%	32 8.3%	39 10.1%	43 11.1%	6 1.6%

問21 福祉サービスの情報収集先(複数回答可)

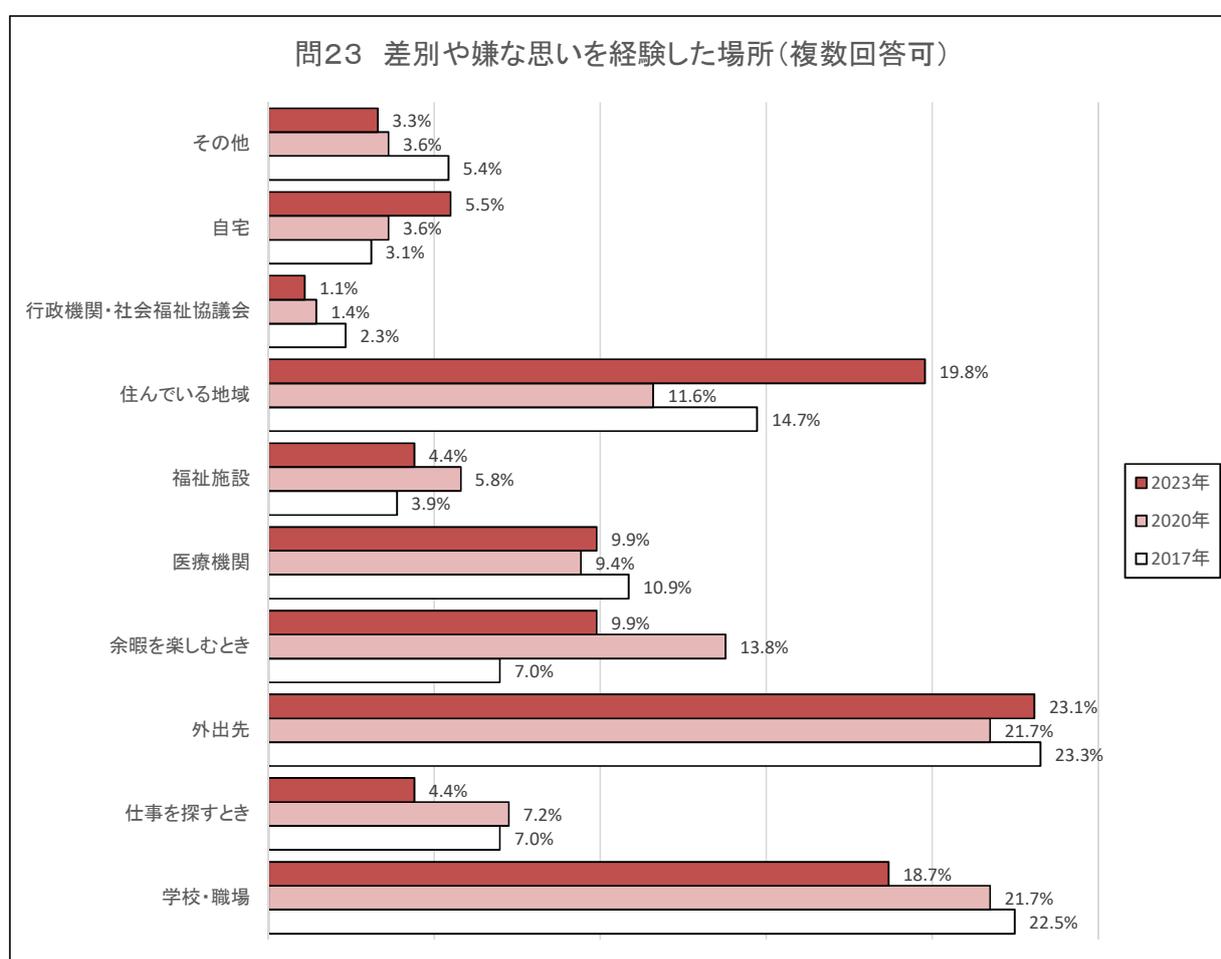


問22 障がい者であるために生じた差別や嫌な思いの経験

実施年	ある		少しある		ない		無回答	
2017年	33	14.2%	50	21.5%	138	59.2%	12	5.2%
2020年	34	12.3%	50	18.1%	161	58.3%	31	11.2%
2023年	26	12.7%	23	11.2%	133	64.9%	23	11.2%

問23 差別や嫌な思いを経験した場所(複数回答可)

実施年	学校・職場	仕事を探すとき	外出先	余暇を楽しむとき	医療機関	福祉施設	住んでいる地域	協議会 行政機関・社会福祉	自宅	その他
2017年	29 22.5%	9 7.0%	30 23.3%	9 7.0%	14 10.9%	5 3.9%	19 14.7%	3 2.3%	4 3.1%	7 5.4%
2020年	30 21.7%	10 7.2%	30 21.7%	19 13.8%	13 9.4%	8 5.8%	16 11.6%	2 1.4%	5 3.6%	5 3.6%
2023年	17 18.7%	4 4.4%	21 23.1%	9 9.9%	9 9.9%	4 4.4%	18 19.8%	1 1.1%	5 5.5%	3 3.3%



問24 差別や嫌な思いを経験したときの相談先

実施年	相談していない		家族・友人・知人		行政機関や通所施設の職員		無回答	
2017年	46	33.6%	32	23.4%	10	7.3%	49	35.8%
2020年	38	33.3%	43	37.7%	7	6.1%	26	22.8%
2023年	29	40.3%	23	31.9%	2	2.8%	18	25.0%

問25 「障害者差別解消法」の認知度

実施年	名前も内容も知ってる		内容は知らない		知らない		無回答	
2017年	25	10.7%	42	18.0%	149	63.9%	17	7.3%
2020年	25	9.1%	55	19.9%	167	60.5%	29	10.5%
2023年	22	10.7%	40	19.5%	129	62.9%	14	6.8%

問26 「障害者虐待防止法」の認知度

実施年	名前も内容も知ってる		内容は知らない		知らない		無回答	
2017年	26	11.2%	59	25.3%	132	56.7%	16	6.9%
2020年	33	12.0%	59	21.4%	145	52.5%	39	14.1%
2023年	28	13.7%	56	27.3%	107	52.2%	14	6.8%

問27 「成年後見制度」の認知度

実施年	名前も内容も知ってる		内容は知らない		知らない		無回答	
2017年	56	24.0%	65	27.9%	90	38.6%	20	8.6%
2020年	68	24.6%	70	25.4%	113	40.9%	25	9.1%
2023年	51	24.9%	63	30.7%	78	38.0%	13	6.3%

問28 「成年後見制度」の利用状況

実施年	利用していない	後見人がいる	保佐人がいる	補助人がいる	任意後見人がいる	無回答
2017年	151	6	0	3	0	5
2020年	61	3	1	2	0	26
2023年	181	5	0	1	0	18

問29 「成年後見制度」を知りつつも、利用していない理由

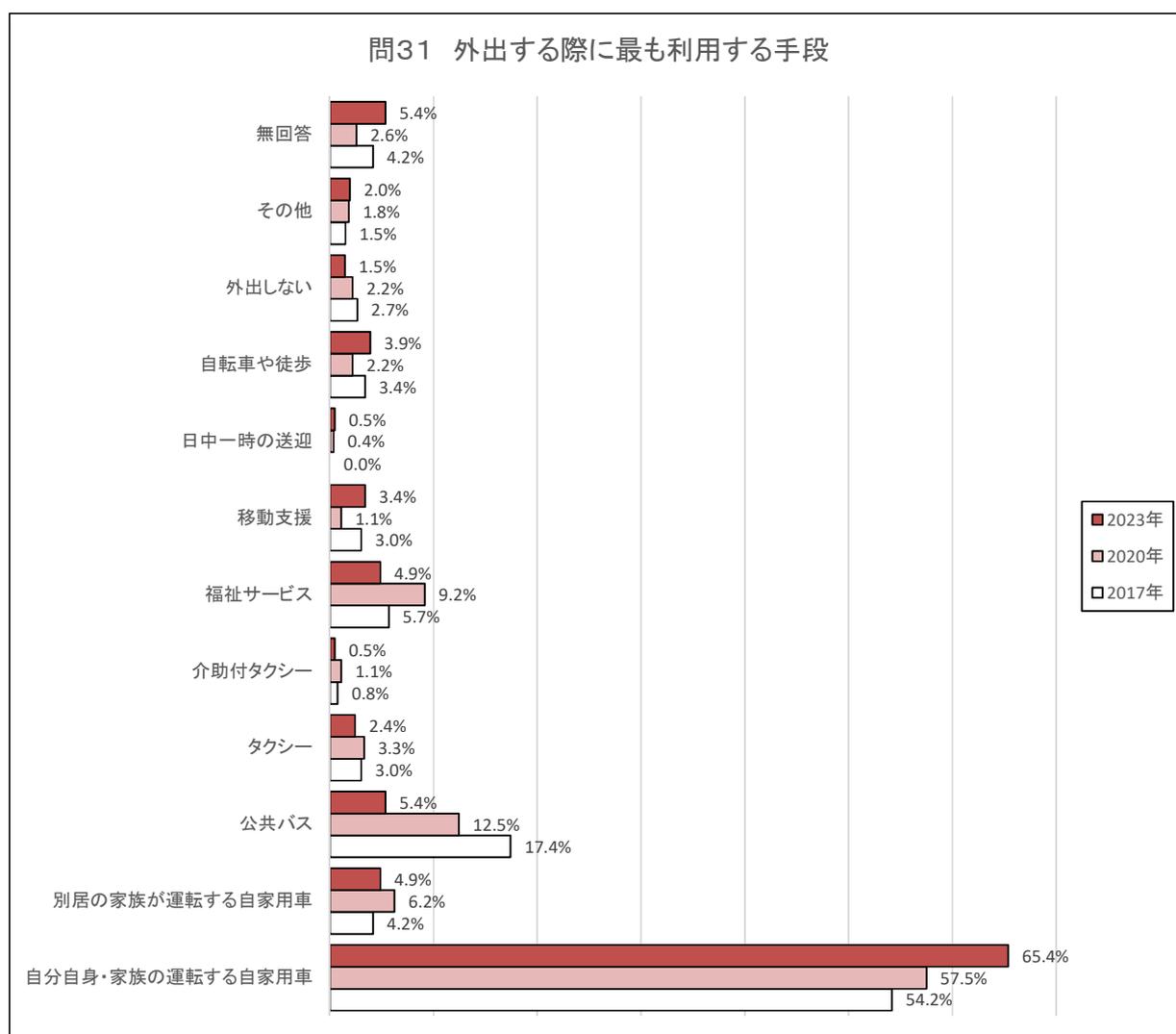
実施年	必要ない		事務手続きが難しい		まだ早い		お金がない		相談先がわからない		その他	
2017年	104	77.0%	1	0.7%	16	11.9%	3	2.2%	2	1.5%	9	6.7%
2020年	152	68.5%	3	1.4%	27	12.2%	6	2.7%	12	5.4%	22	9.9%
2023年	136	76.8%	1	0.6%	19	10.7%	3	1.7%	7	4.0%	11	6.2%

問30 成年後見人の担当希望

実施年	親族		法律の専門家		福祉の専門家		市民後見人		わからない		無回答	
2017年	101	43.3%	7	3.0%	12	5.2%	1	0.4%	69	29.6%	43	18.5%
2020年	131	47.5%	6	2.2%	18	6.5%	6	2.2%	72	26.1%	43	15.6%
2023年	101	49.3%	7	3.4%	9	4.4%	0	0.0%	63	30.7%	25	12.2%

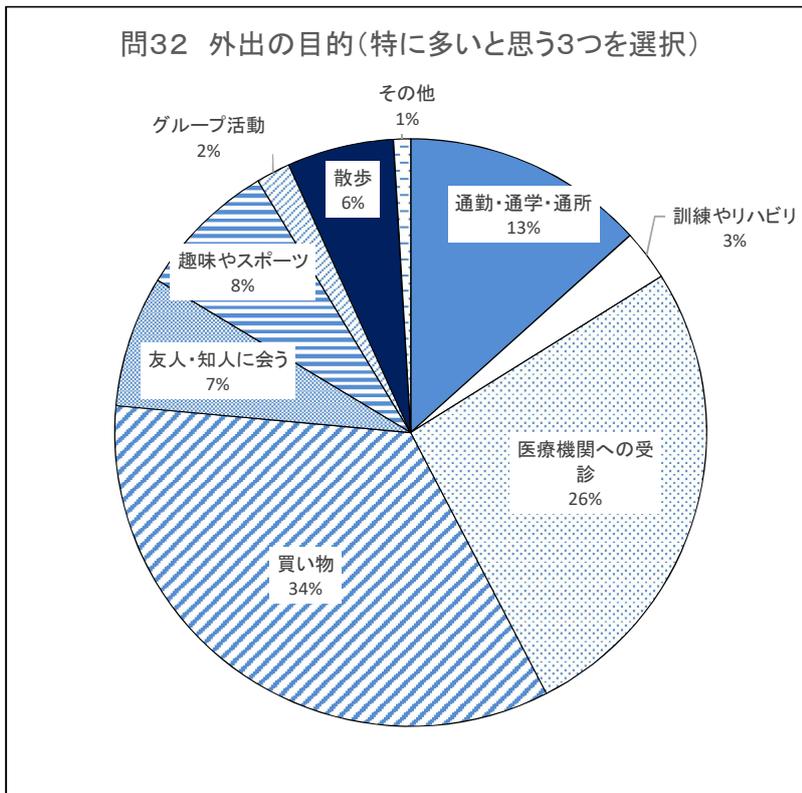
問31 外出する際に最も利用する手段

実施年	転 自 分 自 身 ・ 家 族 の 運 用 車	別 居 の 家 族 が 運 転 す る 自 家 用 車	公 共 バ ス	タ ク シ ー	介 助 付 タ ク シ ー	福 祉 サ ー ビ ス	移 動 支 援	日 中 一 時 の 送 迎	自 転 車 や 徒 歩	外 出 し な い	そ の 他	無 回 答
2017年	143 54.2%	11 4.2%	46 17.4%	8 3.0%	2 0.8%	15 5.7%	8 3.0%	0 0.0%	9 3.4%	7 2.7%	4 1.5%	11 4.2%
2020年	157 57.5%	17 6.2%	34 12.5%	9 3.3%	3 1.1%	25 9.2%	3 1.1%	1 0.4%	6 2.2%	6 2.2%	5 1.8%	7 2.6%
2023年	134 65.4%	10 4.9%	11 5.4%	5 2.4%	1 0.5%	10 4.9%	7 3.4%	1 0.5%	8 3.9%	3 1.5%	4 2.0%	11 5.4%



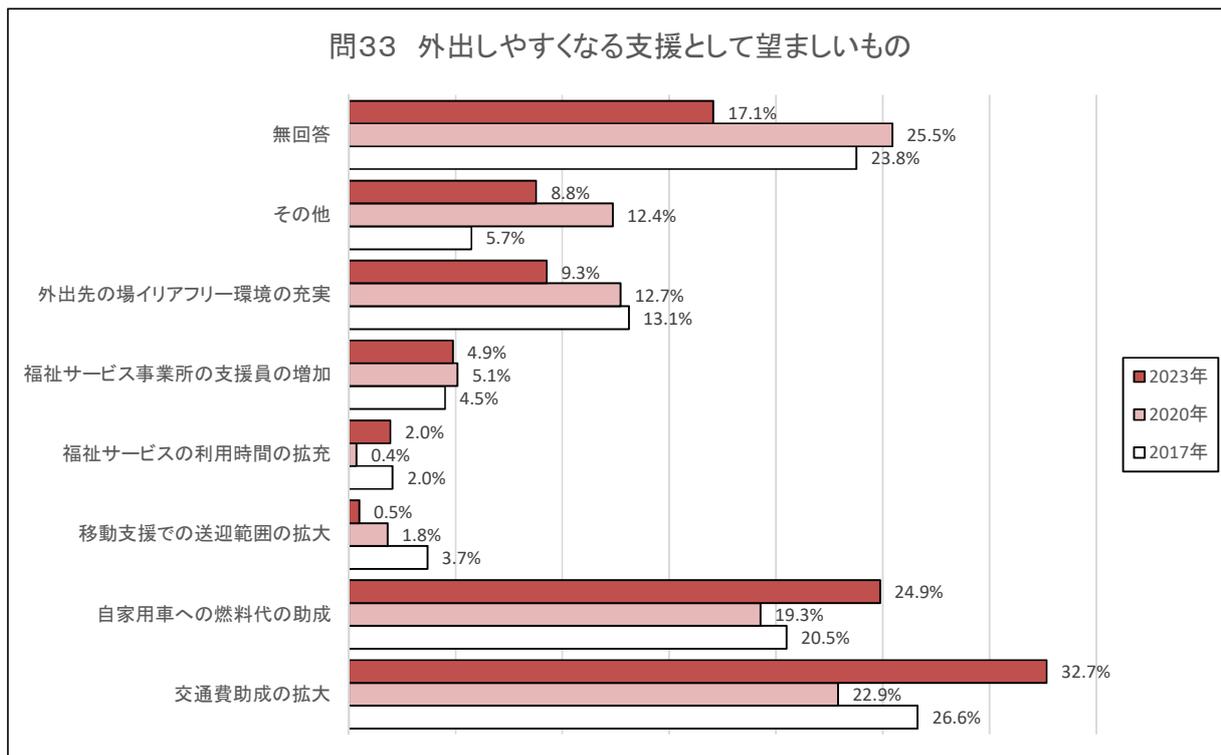
問32 外出の目的(特に多いと思う3つを選択)

実施年	通勤・通学・通所	訓練やリハビリ	医療機関への受診	買い物	友人・知人に会う	趣味やスポーツ	グループ活動	散歩	その他
2020年	60 9.9%	19 3.1%	192 31.7%	180 29.7%	55 9.1%	46 7.6%	14 2.3%	23 3.8%	17 2.8%
2023年	57 13.3%	12 2.8%	113 26.3%	146 34.0%	31 7.2%	33 7.7%	8 1.9%	25 5.8%	4 0.9%



問33 外出しやすくなる支援として望ましいもの

実施年	交通費助成の拡大	の自家用車への燃料代	の移動支援での送迎範囲	の福祉サービスの利用	の福祉サービスの増加	の福祉サービスの増加	の福祉サービスの増加	の福祉サービスの増加	その他	無回答
2017年	65 26.6%	50 20.5%	9 3.7%	5 2.0%	11 4.5%	32 13.1%	14 5.7%	58 23.8%		
2020年	63 22.9%	53 19.3%	5 1.8%	1 0.4%	14 5.1%	35 12.7%	34 12.4%	70 25.5%		
2023年	67 32.7%	51 24.9%	1 0.5%	4 2.0%	10 4.9%	19 9.3%	18 8.8%	35 17.1%		



問34 教育環境として望ましいもの

実施年	ポ ー ト 常 学 体 制 で の サ	ポ ー ト 通 級 指 導 で の サ	サ ポ ー ト 特 別 支 援 体 制 で の	の 特 別 サ ポ ー ト 支 援 学 校 体 制 で	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
2017年	21 9.0%	3 1.3%	14 6.0%	9 3.9%	91 39.1%	10 4.3%	85 36.5%
2020年	30 10.9%	4 1.4%	19 6.9%	15 5.4%	88 31.9%	18 6.5%	102 37.0%
2023年	32 15.6%	36 17.6%	18 8.8%	9 4.4%	69 33.7%	7 3.4%	34 16.6%

問35 学校生活を送る上で困ったこと(複数回答可)

実施年	通 学 手 段	学 習 サ ポ ー ト 体 制	学 校 設 備	介 助 体 制	進 路 指 導	つ ま ら な い	教 職 員 の 理 解	者 他 の 理 解 の 児 童 生 徒 や 保 護	め ら れ る 家 族 の 付 き 添 い が 求	特 に な し	そ の 他
2017年	13 8.7%	7 5.3%	1 0.8%	2 1.5%	5 3.8%	5 3.8%	7 5.3%	6 4.6%	2 1.5%	83 63.4%	19 14.5%
2020年	12 6.5%	7 3.8%	4 2.2%	3 1.6%	3 1.6%	4 2.2%	14 7.5%	5 2.7%	2 1.1%	117 62.9%	15 8.1%
2023年	11 7.1%	5 3.2%	2 1.3%	2 1.3%	3 1.9%	6 3.9%	6 3.9%	5 3.2%	2 1.3%	108 70.1%	4 2.6%

問36 インクルーシブ教育に必要なこと

実施年	建築物の大型外周整備	校内の既存設備の整備	ICT機器などの整備	障がい特性への配慮と研修	障がいに対する理解促進	専門性のある教職員の配置	公的サービスの支援	関係機関の連携	わからない	特にな	インクルーシブ教育は必要ない	その他	無回答
2017年	3 1.2%	10 3.9%	5 1.9%	28 10.8%	24 9.3%	19 7.3%	6 2.3%	10 3.9%	49 18.9%	28 10.8%	1 0.4%	2 0.8%	74 28.6%
2020年	4 1.5%	6 2.2%	6 2.2%	27 9.9%	21 7.7%	9 3.3%	12 4.4%	11 4.0%	50 18.2%	37 13.5%	0 0.0%	2 0.7%	89 32.5%
2023年	10 4.9%	11 5.4%	7 3.4%	19 9.3%	23 11.2%	13 6.3%	6 2.9%	11 5.4%	41 20.0%	23 11.2%	0 0.0%	1 0.5%	40 19.5%

問37 仕事の状況

実施年	仕事をしている	仕事をしていない	仕事をしたくない	無回答
2017年	59 25.4%	142 61.2%	3 1.3%	28 12.1%
2020年	69 25.1%	172 62.5%	5 1.8%	29 10.5%
2023年	67 32.7%	111 54.1%	4 2.0%	23 11.2%

問38(1) 仕事の形態(複数回答可)

実施年	自営業	家業の手伝い	正規の社員・職員	パート・日雇い・嘱託	有償ボランティア	内職	通所サービス	その他
2017年	11 17.5%	6 9.5%	9 14.3%	9 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	24 38.1%	4 6.3%
2020年	25 34.7%	4 5.6%	11 15.3%	9 12.5%	1 1.4%	2 2.8%	18 25.0%	2 2.8%
2023年	11 16.4%	5 7.5%	14 20.9%	16 23.9%	0 0.0%	1 1.5%	16 23.9%	4 6.0%

問38(2) 仕事の見つけ方

実施年	自分で探した	就労支援センター	ハローワーク	福祉サービス事業所	学校	友人・知人・近所の人	職業訓練校	行政	障がい認定前と同じ職場	その他	無回答
2017年	21 33.3%	1 1.6%	1 1.6%	6 9.5%	5 7.9%	3 4.8%	1 1.6%	2 3.2%	4 6.3%	13 20.6%	6 9.5%
2020年	16 16.0%	1 1.0%	1 1.0%	4 4.0%	4 4.0%	9 9.0%	1 1.0%	2 2.0%	6 6.0%	13 13.0%	43 43.0%
2023年	18 20.0%	1 1.1%	2 2.2%	5 5.6%	6 6.7%	6 6.7%	2 2.2%	4 4.4%	2 2.2%	10 11.1%	34 37.8%

問38(3) 仕事をする上での不安や不満(複数回答可)

実施年	設備が不十分	安全への配慮	相談できる人がいない	通勤が大変	仕事内容が合っていない	職場の人間関係	昇給や昇進の不平等	収入が少ない	健康保険・厚生年金がない	仕事内容がむずかしい	勤務時間が長い	病気や障がいへの理解不足	正職員になれない	受診のための休みが取りにくい	不安や不満はない	その他
2017年	3 3.4%	1 1.1%	5 5.6%	4 4.5%	6 6.7%	7 7.9%	3 3.4%	16 18.0%	1 1.1%	2 2.2%	4 4.5%	5 5.6%	4 4.5%	1 1.1%	21 23.6%	6 6.7%
2020年	3 3.8%	1 1.3%	5 6.4%	0 0.0%	2 2.6%	9 11.5%	1 1.3%	15 19.2%	3 3.8%	1 1.3%	2 2.6%	4 5.1%	1 1.3%	1 1.3%	25 32.1%	5 6.4%
2023年	2 2.4%	1 1.2%	2 2.4%	2 2.4%	3 3.7%	4 4.9%	3 3.7%	14 17.1%	4 4.9%	4 4.9%	2 2.4%	2 2.4%	2 2.4%	2 2.4%	30 36.6%	5 6.1%

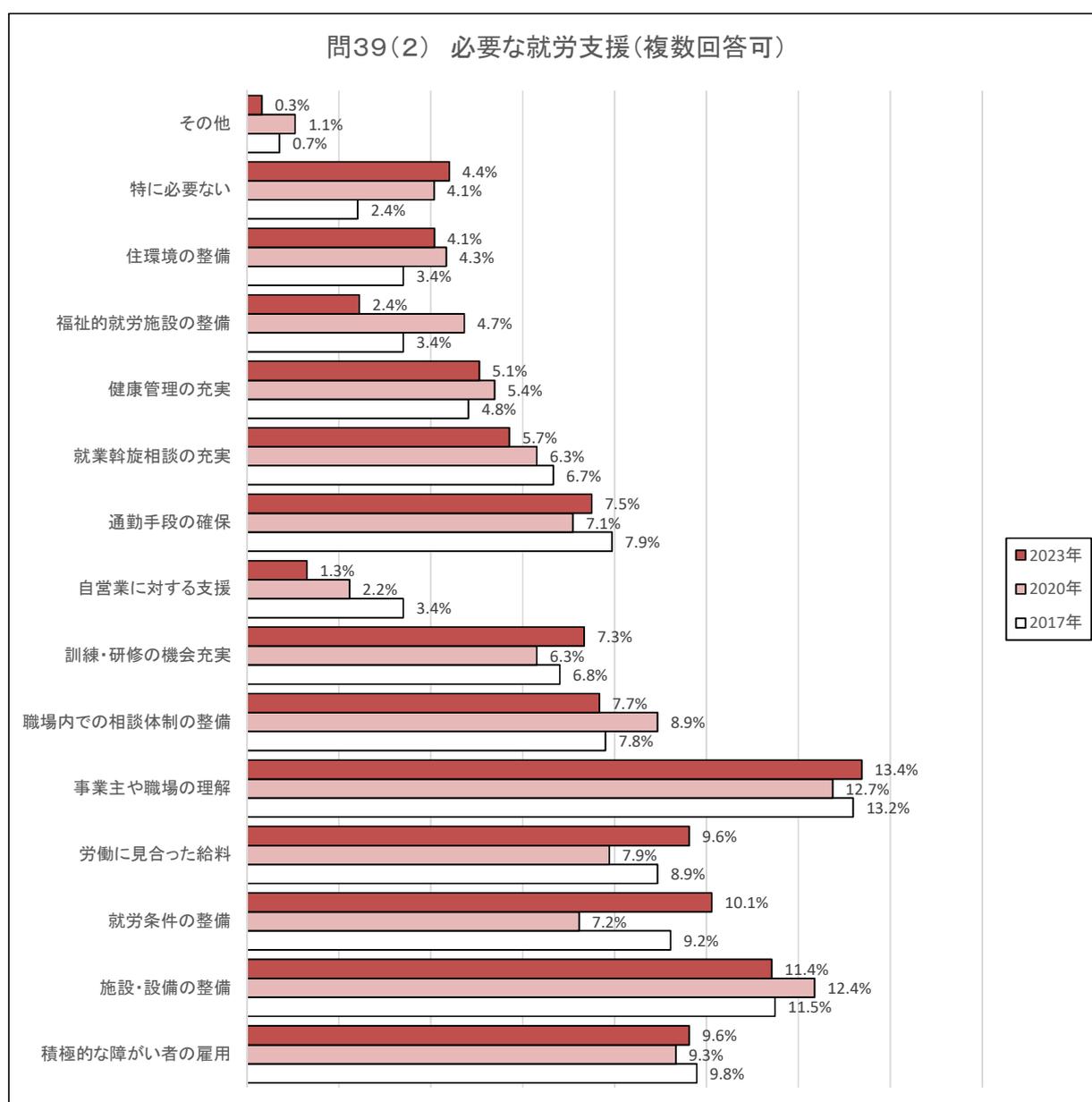
問39(1) してみたい仕事

実施年	事務系	福祉系	農業	自動車整備	料理人	社会奉仕活動	その他	したい仕事はない	無回答
2020年	8 2.9%	2 0.7%	2 0.7%	2 0.7%	2 0.7%	2 0.7%	12 4.3%	153 55.4%	93 33.7%
2023年	2 1.0%	2 1.0%	1 0.5%	0 0.0%	2 1.0%	0 0.0%	8 3.9%	189 92.2%	1 0.5%

※その他には、イラストレーター、教員、スーパー、短時間業務など

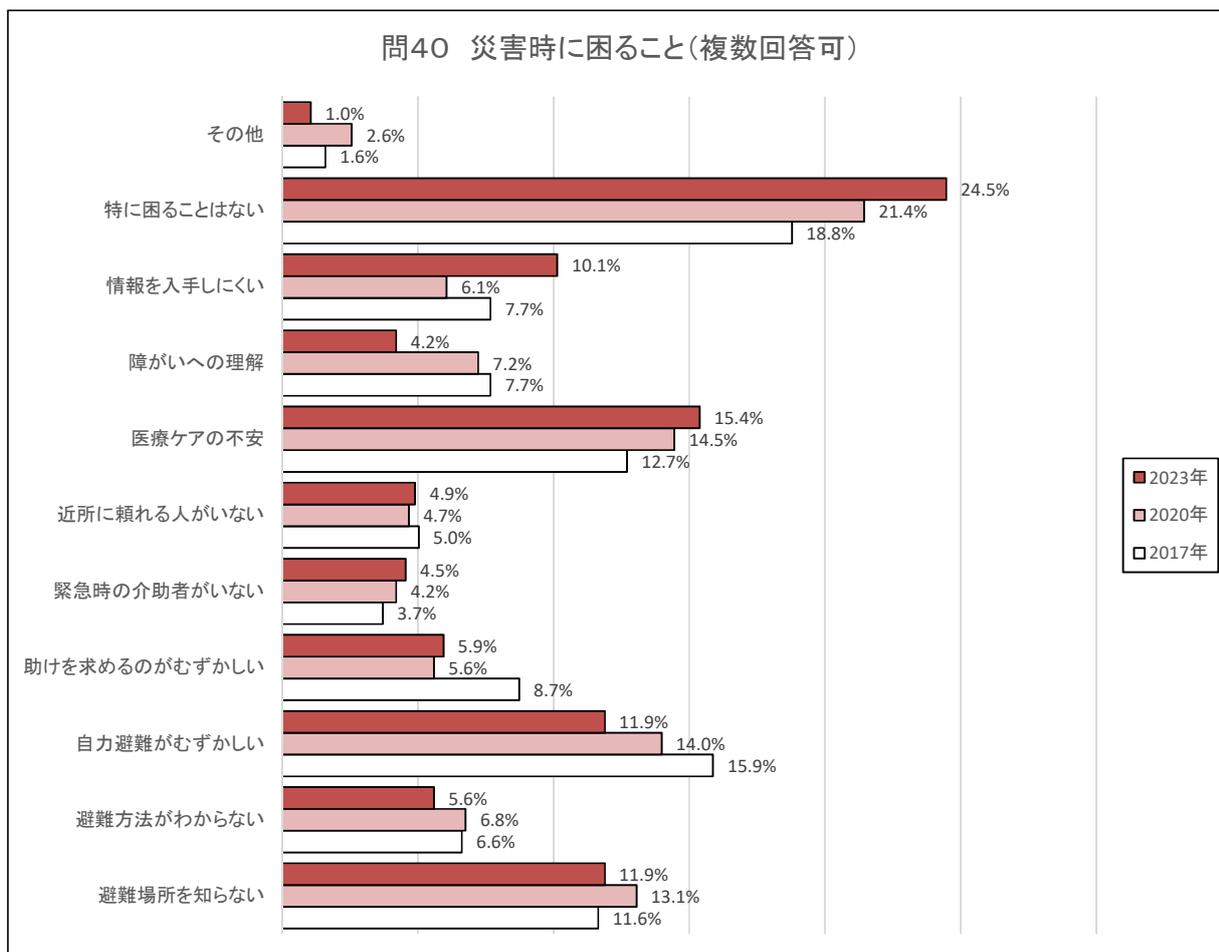
問39(2) 必要な就労支援(複数回答可)

実施年	積極的な障がい者の雇用	施設・設備の整備	就労条件の整備	労働に見合った給料	事業主や職場の理解	職場内での相談体制の整備	訓練・研修の機会充実	自営業に対する支援	通勤手段の確保	就業斡旋相談の充実	健康管理の充実	福祉的就労施設の整備	住環境の整備	特に必要ない	その他
2017年	69	81	65	63	93	55	48	24	56	47	34	24	24	17	5
	9.8%	11.5%	9.2%	8.9%	13.2%	7.8%	6.8%	3.4%	7.9%	6.7%	4.8%	3.4%	3.4%	2.4%	0.7%
2020年	71	94	55	60	97	68	48	17	54	48	41	36	33	31	8
	9.3%	12.4%	7.2%	7.9%	12.7%	8.9%	6.3%	2.2%	7.1%	6.3%	5.4%	4.7%	4.3%	4.1%	1.1%
2023年	59	70	62	59	82	47	45	8	46	35	31	15	25	27	2
	9.6%	11.4%	10.1%	9.6%	13.4%	7.7%	7.3%	1.3%	7.5%	5.7%	5.1%	2.4%	4.1%	4.4%	0.3%



問40 災害時に困ること(複数回答可)

実施年	避難場所を知らない	避難方法がわからない	自力避難がむずかしい	助けを求めのむずかしい	緊急時の介助者がいない	近所に頼れる人がいない	医療ケアの不安	障がいへの理解	情報を入手しにくい	特に困ることはない	その他
2017年	44 11.6%	25 6.6%	60 15.9%	33 8.7%	14 3.7%	19 5.0%	48 12.7%	29 7.7%	29 7.7%	71 18.8%	6 1.6%
2020年	56 13.1%	29 6.8%	60 14.0%	24 5.6%	18 4.2%	20 4.7%	62 14.5%	31 7.2%	26 6.1%	92 21.4%	11 2.6%
2023年	34 11.9%	16 5.6%	34 11.9%	17 5.9%	13 4.5%	14 4.9%	44 15.4%	12 4.2%	29 10.1%	70 24.5%	3 1.0%



問41 自主避難ができるかどうか

実施年	できる	できない	わからない	無回答
2020年	104 37.8%	96 34.9%	52 18.9%	23 8.4%
2023年	96 46.8%	55 26.8%	39 19.0%	15 7.3%

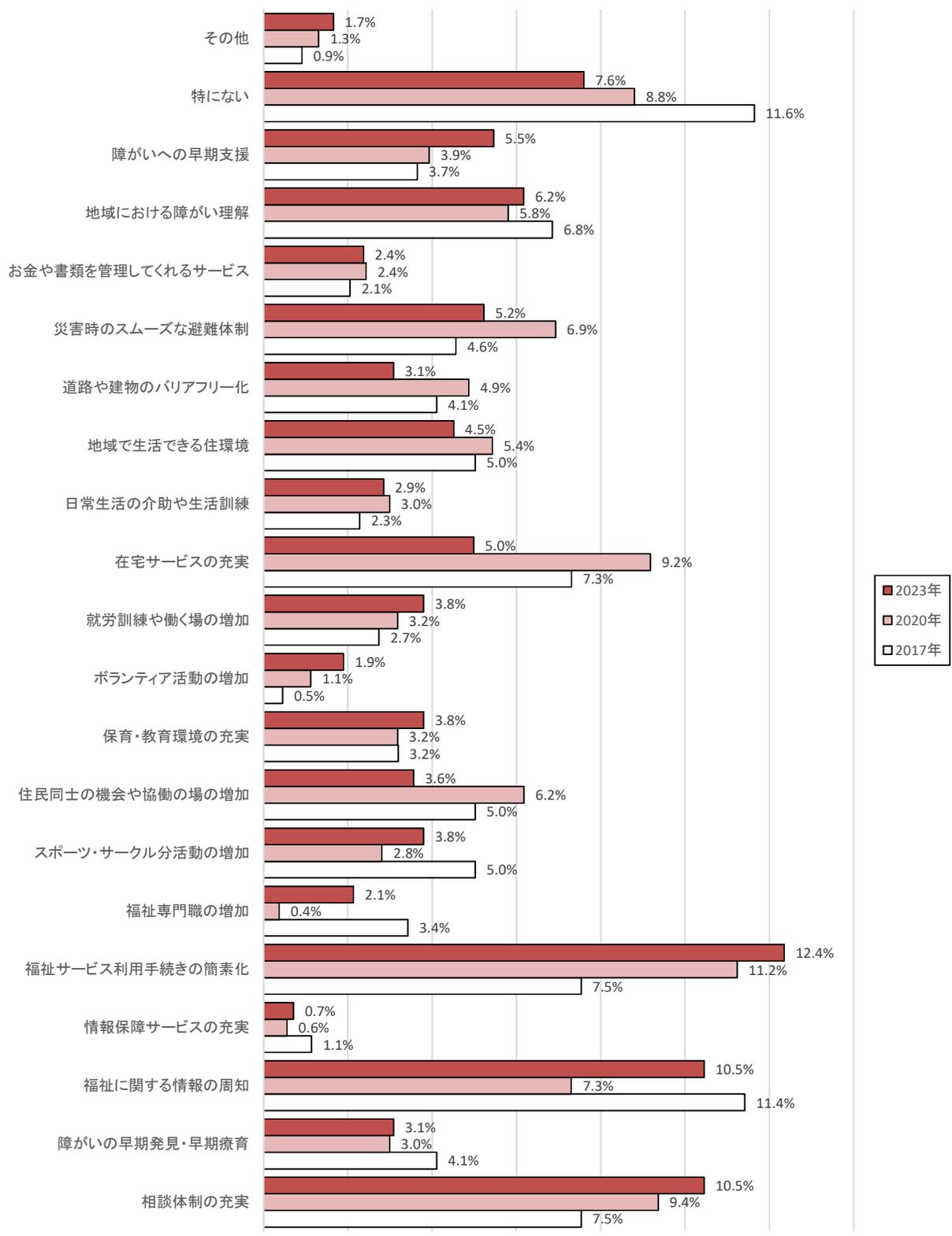
問42 災害時に障がいを理解してもらいにくい理由

実施年	障がい特性への理解がされない		身体特性に対する対応が困難		他者とのコミュニケーションが上手にできない	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
2020年	18	54.5%	4	12.1%	11	33.3%
2023年	11	84.6%	0	0.0%	2	15.4%

問43 よりよい生活のために必要なサービス(3つまで選択可)

実施年	相談体制の充実	障がいの早期発見・早期療育	福祉に関する情報の周知	情報保障サービスの充実	福祉サービス利用手続きの簡素化	福祉専門職の増加	スポーツ・サークル分活動の増加	住民同士の機会や協働の場の増加	保育・教育環境の充実	ボランティア活動の増加	就労訓練や働く場の増加	在宅サービスの充実	日常生活の介助や生活訓練	地域で生活できる住環境	道路や建物のバリアフリー化	災害時のスムーズな避難体制	お金や書類を管理してくれるサービス	地域における障がい理解	障がいへの早期支援	特になし	その他
	2017年	33 7.5%	18 4.1%	50 11.4%	5 1.1%	33 7.5%	15 3.4%	22 5.0%	22 5.0%	14 3.2%	2 0.5%	12 2.7%	32 7.3%	10 2.3%	22 5.0%	18 4.1%	20 4.6%	9 2.1%	30 6.8%	16 3.7%	51 11.6%
2020年	50 9.4%	16 3.0%	39 7.3%	3 0.6%	60 11.2%	2 0.4%	15 2.8%	33 6.2%	17 3.2%	6 1.1%	17 3.2%	49 9.2%	16 3.0%	29 5.4%	26 4.9%	37 6.9%	13 2.4%	31 5.8%	21 3.9%	47 8.8%	7 1.3%
2023年	44 10.5%	13 3.1%	44 10.5%	3 0.7%	52 12.4%	9 2.1%	16 3.8%	15 3.6%	16 3.8%	8 1.9%	16 3.8%	21 5.0%	12 2.9%	19 4.5%	13 3.1%	22 5.2%	10 2.4%	26 6.2%	23 5.5%	32 7.6%	7 1.7%

問43 よりよい生活のために必要なサービス(3つまで選択可)

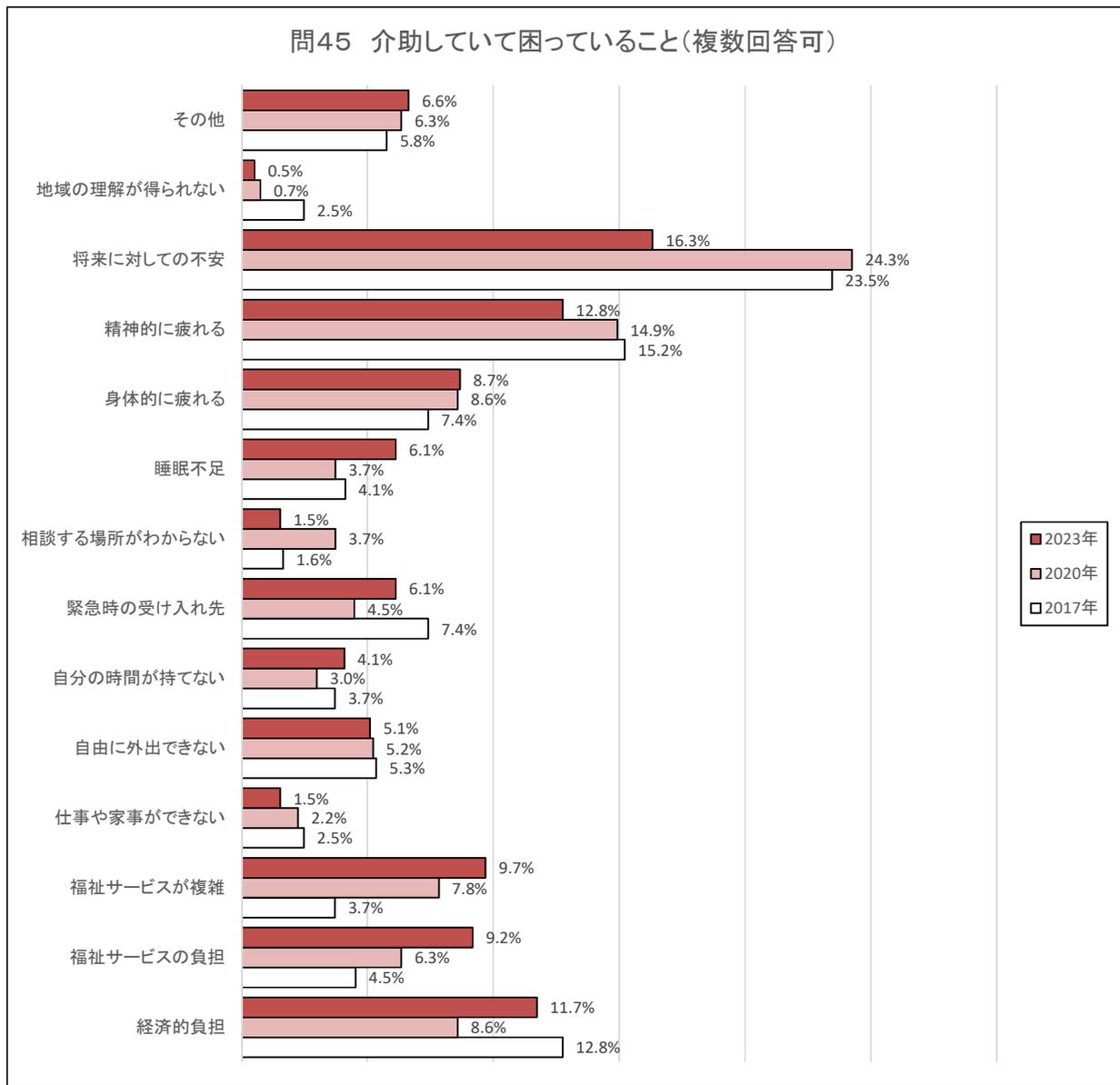


問44 介助者の年齢

実施年	10歳代	20-39歳	40-59歳	60-64歳	65-74歳	75歳以上	無回答
2017年	0	6	61	16	32	31	1
2020年	1	10	44	22	45	35	119
2023年	7	13	34	12	39	22	78

問45 介助していて困っていること(複数回答可)

実施年	経済的負担	福祉サービスの負担	福祉サービスが複雑	仕事や家事ができない	自由に外出できない	自分の時間が持てない	緊急時の受け入れ先	相談する場所がわからない	睡眠不足	身体的に疲れる	精神的に疲れる	将来に対しての不安	地域の理解が得られない	その他
2017年	31 12.8%	11 4.5%	9 3.7%	6 2.5%	13 5.3%	9 3.7%	18 7.4%	4 1.6%	10 4.1%	18 7.4%	37 15.2%	57 23.5%	6 2.5%	14 5.8%
2020年	23 8.6%	17 6.3%	21 7.8%	6 2.2%	14 5.2%	8 3.0%	12 4.5%	10 3.7%	10 3.7%	23 8.6%	40 14.9%	65 24.3%	2 0.7%	17 6.3%
2023年	23 11.7%	18 9.2%	19 9.7%	3 1.5%	10 5.1%	8 4.1%	12 6.1%	3 1.5%	12 6.1%	17 8.7%	25 12.8%	32 16.3%	1 0.5%	13 6.6%



自由記載欄での主な意見等

①本計画の策定に関わったことがあるが、これまでの取り組み実績の具体的な内容の報告が殆どないに等しいのではないと思う。本アンケートの資料として添付が望ましい。今後の計画策定後は、何が重点項目なのかを広報する必要がある。②デジタル化と称して何でもWEB回答を求める風潮があるのをやめてもらいたい(高齢者は十分に対応できない→差別解消法に反するのではないのでしょうか?)③自立支援協議会の年間活動報告が必要と思われる(委員の経験から思ったことです)(65～74歳 男性 本人)

ペースメーカーを入れてるので、徐雪が出来なくて困っている。(75歳以上 女性 家族)
昨冬は除雪の支援をしていただけてとても助かりました。ずっと続けてほしいです。(65～74歳 女性 本人)

障がい者を対象とした自動車学校における運転免許取得に対する助成金制度を設けてほしいと思います。旭川市にはそのような制度があるので、鷹栖町にも導入してほしいと思います。(18～29歳 男性 本人)

知的障害じゃないのに知的障害扱いされている。社会に出て働いているのに一度も働いたことがないような扱いを受ける。(50～64歳 男性 本人)

障がい者が地域で自立して生活でき、親も手助けできている期間はいいのですが、障がい者はほかの人より認知症になるのが早く、体力の衰えも早く、みんなと移動するのが辛くなる。自立してグループホームでの生活が無理になってくると家に帰され、親が元気で面倒みられる時はいいのですが、年を取ってくると親が病氣・入院が重なるかと将来に不安が大となります。施設入所は待機待ちの人がいっぱい、年齢的に老人施設には入れず、介護施設までの年齢まで待たねばならないのが実態。障がい者の施設が足りないのであれば、老人施設で知的障がい者も受け入れてくれるよう、年齢制限を下げ、介護認定も受けられるように国も考えてほしい。(50～64歳 女性 家族)

老人や障がいを持つ人たちと関わる機会が多いと慣れてくるのでそういう場所があればいいと思います。慣れると別枠で考えるのではなく、当たり前になるので若い人たちや健康な人たちも、接しやすくなるのではないかと思います。(75歳以上 女性 家族)

乳幼児の時期に毎年町の検診が受けられることで障害とまではいかなくても困り感が強い子どもたちへの援助支援の道筋を作りやすい環境があります。これからも丁寧な検診をお願いしたい。(0～17歳 男性 家族)

私は買い物等で近くの店まで歩いていくのが困難で、近くのバス停から公共バスで(春光イオン廃止で)旭川駅前まで行くのですが、交通費の負担が大きく、町から交通費助成(10,000円)を受けているが全然足りなく、交通費が大変。旭川では高齢者に対し交通費を一回100円で利用できる施策をしている。大変うらやましい事だし、利用者も多いと思う。鷹栖町は利用者が少ないから結局バスが減便され、2時間もない時間帯がある。せめて1時間に一本走るよう、町として進めるべきである。コロナを理由に長期減便され、コロナ終息後は復元するかと思えば、更に減便された状態。旭川春光台線ではコロナに関係なく、30分間隔で運行しているのになぜ?鷹栖町は自家用車を持つのは当然で、バス利用者のことなど全く考えていないようだ。町として、もっとバス会社と話し合うべきだ。町民や老人のことを考えているようで、全く考えてないと思う。(75歳以上 男性 本人)

全てにおいて良く検討されていて充実していると思います。ただ、個人的に必要な時にその情報がわからず後になって知ることが多かった。利用したいときには申請期限が過ぎていたり後の祭的なことが多かった。町としてはいろいろな方法で広報していたとは思いますが、同じ環境の人が聞きに来た時にはその方も初めて知った。すぐ役場、はびねすに行って、その制度を利用するといったこともあります。毎月の広報たかす以外に町民にお知らせする方法は他には無いんですか?これからのこともあるので、自分的には広報をしっかり読み、アンテナを張り、友人や知人からももらえるように心掛けています。(75歳以上 男性 家族)

鷹栖町は福祉等に手厚い街だと思います、情報の発信がもっとあればいいと思います町内にも高齢の方が多くなっていますので買い物にも困る方がおられると思います買い物代行サービスや、一人暮らしの方への確認などをしていただければと思います。(50～64歳 男性 本人)

先日見かけたことですが腰の曲がったお年寄りの方がはびねすのカウンターへ来たのですが机の上のベルを押すのを分からずしばらく待っていました、しかし誰も気づかず私が声を掛けました、あんなに人がいるのに誰も気づかず仕事が忙しいのはわかりますがとても親切だと感じました。カウンターを低くするとかの配慮など対策はあるかと思います。(75歳以上 女性 本人)

他市町村と比べると、障がいに応じた住宅改修に対する費用補助額が少ないといえると思います。(65～74歳 女性 本人)

私は91歳になりましたが息子と2人で暮らしています。息子は朝食の支度をしてくれますそのあとパートの仕事に行っています。お昼は私一人で昼食を用意して食べます。夕飯の用意を私が用意して食べるのですが、私も忘れることが多くなって時には魚を焦がしたり、鍋に煮物を焦げ付かしたりして心配しています。危ないことがあっては大変なので人の話を聞いたのですが火災報知器というものを付けていただいて、役場とか消防などにすぐお知らせできるようにお願いできたらいいと思いますよろしくお願いします。(75歳以上 女性 本人)

鷹栖町には子供が小さいころから大変お世話になり感謝しています。鷹栖町にいたからこそ地元学校の学校にも通え児童クラブも利用できました。インクルーシブ教育が普通のこととなるよう願っていますが、実現のためにはたくさん課題もあると感じています。いつまで親子で頑張れるのかわからない不安な気持ちはありますが、いろいろとご支援をもらいながら頑張っていきたいです。親の私は子供の障害がわかってからフルタイムで働くことが出来なくなりました。今後は隙間時間を利用して少しでも鷹栖の中で働くことが出来たらと思います。これからはお互いさまの力がますます必要になるのかなと思います。(18～29歳 女性 家族)

鷹栖町から旭川市に出るためのバス代が高いので、精神障害者手帳でもバス代が割引にされる制度が欲しいです。(18～29歳 女性 本人)

福祉が手厚い町だと思います。それが決め手で移住してきました。学校、保護者、町(保健師)、福祉サービスなど、当事者に関わる関係機関が集まって、支援などについて話せる場があると保護者としてはありがたいです。(0～17歳 男性 その他)

障害者助成の手続き申請が面倒というか対応が悪かった。担当者の方に聞いても、内容を把握してないのか面倒なのか聞いても対応が悪く、気分を害しました。その為、助成申請が中途半端で滞っています。対応が親切では無かったのは事実です。(40～49歳 男性 本人)

精神障害についてもっと理解して欲しいです。にも包括にも取り組んで頂いていると思いますが、箱を作れば通えられる人はもうすでに既存の社会資源を利用していると思います。にも包括で特に視点が当たるのは、既存の社会資源には通えない精神障害者だと私は思っています。なので既存の社会資源には繋がれない人が繋がれる為にはどうしたらいいのかというソフトの部分をもっと具体的に話し合っ欲しいです。(40～49歳 男性 本人)

てんかんを持っている。大雪の日は個々の家の人が道路に雪を捨てる。いつか救急車が家の前まで来れない日が来るのではないかと不安。来れても救急車が埋まるのではと不安。みんな自分のことばかり、自分さえ良ければいいと思ってる。道路に出した雪が原因で救急搬送に影響が出た時のことをそろそろみんな考えるべきだ。(18～29歳 男性 家族)

子ども達への支援は大変積極的な改善が見られて、計画の実行力を感じます。ご苦労様です。しかしながら、成人になると町外の通所になる為、個別の悩みもあるのか、あまり計画の内容も反映されにくい面もあるか、実行力を感じない。特にグループホームやショート等、共生会だけでは不足だとわかっているのに、増えないのは辛い。高齢者向けの住居の一部で、鷹栖町在住向けのグループホームに当てられないのか。管理は共生会じゃなくても良いのでは。(18～29歳 男性 家族)

老人の福祉には手厚いのかもかもしれないが、子供に関しては全然遅れている。鷹栖は福祉が充実していると聞いてきたが、全くそうは思わない。(0～17歳 女性 家族)